

努力賞

本当の気持ち

荒川区立赤土小学校四年

松崎 蒼侑

柳田先生こんにちは。ぼくは、「さびしがりやのトッケビ」という本を読んで、さびしくてもらなぼうにしないことを深く学びました。トッケビというおにのシムシミは、山おくにすんでいて、さびしがりやでした。けれど、村に行ったら、村人たちがこわがっていることをシムシミは知って悪いことをしました。でも、結局ニワトリにやられてまたさびしくなりました。

自分がさびしくてらんぼうにしてみました、自分の気持ちをくわしく伝えて、しっかりあやまろうと思います。なぜなら、友だちになりたい気

持ちと、えがおになってほしい気持ちがあるからです。

柳田先生は、さびしくてらんぼうにしてみましたときはどのようにあやまりますか。そして、どんな気持ちであやまりますか。

ぼくは友だちをたくさんふやしたいです。また、らんぼうなことをしてしまっても、いつもなかよしになれるようなあやまり方を身につけたいです。